

施策名：スポーツによる地域の元気づくり

事業名	担当課・室名	ページ
ツール・ド・九州推進事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
スポーツによる地域の元気づくり事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
大分スポーツ地域活力創出事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅲ-3-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
1	ツール・ド・九州推進事業 (R4 ~) 芸術文化スポーツ振興課 サイクルスポーツの普及拡大とサイクルツーリズムを通じた地域活性化を図るため、令和5年10月に開催予定のツール・ド・九州2023大分ステージにおける準備を進めるとともに、機運醸成に向けたイベント等を実施する。	① ツール・ド・九州大分ステージ推進委員会負担金 ・大会コース調整、交通規制計画、広報計画等の大会準備 ・開催地となる日田での周知（川開き観光祭、日田天領祭りに併せた自転車イベント等を実施） ・県内全域を対象にした大会周知（道の駅とタイアップしたスタンプラリー、学生を対象としたサイクル食コンテスト等の実施） ・プロサイクルチーム「スパークルおおいた」による学校訪問	① 31,540 ③ ② ④	サイクルイベント参加者数（※） 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率		1,500	—	A
			① 31,540 ③ ② ④		① 31,540 ③ ② ④	1,500 1,525 101.7%	—		
			主な活動指標と達成率 大分県推進委員会（各部会）の開催回数 [回]	目標値 6 実績値 6 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大会の開催地となる日田市を中心にイベントを行い、大会の周知だけでなくキックバイク体験やバーチャルサイクリング体験等を通じて自転車の活用促進を図った。 今後は、大会当日の観戦客の増加や大会を契機とした誘客につなげるため、県内外への情報発信を強化するほか、大会当日の盛り上げに繋がる取組を地域と連携して推進する。 (※) 令和5年度の成果指標及び目標値 ツール・ド・九州大分ステージの観戦客数 26,000人	目標値 6 実績値 6 達成率 100.0%			
			機運醸成イベントの開催回数 [回]	目標値 3 実績値 6 達成率 200.0%					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 32,056 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 31,540 (15,290)							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
2	スポーツによる地域の元気づくり事業 (R1 ~) 芸術文化スポーツ振興課 スポーツ文化の確立と県民スポーツの振興を図るため、プロスポーツチーム等を活用し、県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームの訪問交流や県民DAYを実施	① プロスポーツチーム等の活用 県内のプロスポーツチーム等を活用し、幅広い世代の県民がスポーツを楽しみ、スポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームの訪問交流や県民DAYを実施 ② スポーツイベントを活用した情報発信 ・プロスポーツチームなど、県のスポーツ振興の取組をPRする動画を大分トリニータのホームゲームで放映 ・年間約11万人の来場者があるオートポリスを活用した観光及び県産品PRを行い、魅力を発信	① 28,760 ③ ② 2,260 ④	交流参加者の満足度 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率	95.0	95.0	95.0	A
			① 28,760 ③ ② 2,260 ④		① 28,760 ③ ② 2,260 ④	95.0 100.0 105.3%	—		
			主な活動指標と達成率 学校等訪問回数 [回]	目標値 55 実績値 55 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内プロスポーツチームが学校等への訪問交流や大分駅のデジタルサイネージを活用した広報を実施することで、ファンとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。また、最も観客動員の多いモーターレースであるスーパーGTの際に抽選会などを実施し、観光及び県産品PRを行うことで多くの来場者に魅力を発信した。 引き続き県内プロスポーツチームの訪問交流やPRを行い、県民がスポーツに親しむ機会の創出に取り組む。	目標値 43 実績値 43 達成率 100.0%			
			PR動画放映回数 [回]	目標値 43 実績値 43 達成率 100.0%					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 31,057 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 31,020 (0)							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
3	大分スポーツ地域活力創出事業 (R4 ~) 芸術文化スポーツ振興課 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを継承し、ナショナルチーム、トップチームのスポーツ合宿や大型スポーツイベントを誘致することにより、交流人口の拡大、地域住民との交流を図り、地域の活力を創出する。	① スポーツ合宿の誘致支援 県内でスポーツ合宿を行うナショナルチーム、プロ、実業団、大学のトップチームに対して宿泊費や交通費を補助：17件 ② アーバンスポーツの振興 スケートボード教室（県内9カ所計10回）やキッズスケートボードコンテストの開催、大分トリニータのホームゲームを利用したアーバンスポーツの魅力を伝える動画放映を実施	① 25,548 ③ ② 13,335 ④	スポーツ合宿受入人数 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率		7.0	8.0	D
			① 25,548 ③ ② 13,335 ④		① 25,548 ③ ② 13,335 ④	7.0 4.3 61.4%	—		
			主な活動指標と達成率 ナショナルチーム等の合宿受入件数 [件]	目標値 12 実績値 17 達成率 141.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ナショナルチーム等の合宿受入件数は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、県外への移動や宿泊を伴うスポーツ活動への自粛傾向は依然見られ、目標を達成できなかった。 今後も、市町村等と連携して合宿誘致を行うほか、新たに旅行会社等に対して誘致活動を行い、合宿受入人数の増加に取り組むとともに、スケートボード教室を継続しつつ、キッズスケートボードコンテストの拡充に取り組む。	目標値 60 実績値 48 達成率 80.0%			
			競技団体等訪問件数 [件]	目標値 60 実績値 48 達成率 80.0%					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 40,054 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 38,883 (6,667)							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅲ-3-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額			成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
4	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業 (R3 ~ R4) 芸術文化スポーツ振興課 ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承するため、ラグビーの魅力や横浜キヤノンイーグルスのセカンダリーホストエリアとしての登録を活かした取組を行う。	①プロチーム等との連携 ・横浜キヤノンイーグルスによる訪問授業を実施 ・15人制ラグビー元日本代表の廣瀬俊朗氏を招聘し、ラグビーの持つ多様性や共生等について学ぶ講演会や体験会を実施 ・横浜キヤノンイーグルスホーム戦の無料観戦招待や、スタジアム周辺の賑わいづくりを実施	①	31,654	③	横浜キヤノンイーグルスホーム戦観戦者数 [人]	目標値	7,000	7,700		D
			②	8,809	④		実績値	5,393	4,379		
	②ラグビーの普及・振興 ・先端技術を活用したラグビー体験イベントを開催 ・大分県ラグビーフットボール協会と連携し、県内の小学生や幼稚園児を対象とした訪問型ラグビー教室を開催			主な活動指標と達成率			達成率	77.0%	56.9%		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	MRコンテンツ体験会開催数	目標値 10	実績値 10	達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内各地で体験イベントや体験教室等を実施することで県民へのさらなるラグビーの浸透を図ったが、新型コロナウイルス感染症による活動制限もあり、目標を下回った。 今後は、大分県ラグビーフットボール協会や横浜キヤノンイーグルスとの連携をさらに強化し、大分県ラグビーフェスティバルや横浜キヤノンイーグルスによるラグビークリニック等を実施することで、新たなラグビーファン層の獲得による観戦者数の増加を図るため、令和5年度から「おおいたラグビー次世代継承事業」を実施する。				
41,374 (0)	40,463 (17,137)										